

法人（事業所）理念		最先端の専門知識・技術を駆使し、発達に個性のあるお子さんの育ちとご家族による子育てを応援し、快適な地域生活をサポートする。 また、お子さんの将来における、自立的な生活やその子らしい幸福な人生の実現に貢献する。			
支援方針		専門機関として、発達障害児支援の専門性を常に研鑽し、高い水準で維持する。また、利己より利他の価値観を持ち、業務の中で種々の価値観や判断に対立が生じた際には、「目の前にいる子どもの人生にとっての利益」という価値観を最優先することとする。			
営業時間		【小集団クラス】 9 時 00 分から 15 時 00 分まで 【親子通所クラス】 9 時 00 分から 15 時 00 分まで		送迎実施の有無	なし
支援内容					ABAの方法論や技術、TEACCH自閉症プログラムの考え方やメソッド、PECSのプロトコル、ESDMの枠組み等、発達障害児支援の専門技術やプログラムを適宜援用しながら療育を行う。
本人支援	健康・生活	机上学習課題の視覚スケジュール化や玩具の要求カードの設定等、視覚支援による見通しの改善を行う。 連絡ノートや聞き取りを通して、健康面・生活リズムに配慮し支援を行う。			
	運動・感覚	ハンモックやトランポリン、すべり台等の粗大運動遊具の設定による運動発達支援を行う。 保有する感覚「視覚・聴覚・触覚・前庭覚・固有覚」等を十分に活用できる玩具や遊び、微細運動を取り入れた課題の設定を行う。			
	認知・行動	認知発達に応じた個別学習課題や活動の設定を行う。 目で見てわかる構造化された環境の中で、行動理論に基づく関わり方を通して児の理解や適切な行動に結び付けていく。			
	言語 コミュニケーション	言語・コミュニケーション発達に応じた関わりや環境設定を行う。 大人とのやり取りや小集団活動等を通して、受容・表出コミュニケーションの方法や手段を獲得できるよう支援する。			
	人間関係 社会性	スモールステップで大人との信頼関係を築き、自信や自己肯定感を育む。 人との関わり行動を強化する為に、原則的に課題・活動・関わりに強化価の高い強化子を設定する。			
家族支援		児の生活や人生にとって有益と思われる行動の変化や成長・発達の兆しと思われるエピソードはなるべく詳細にお伝えする。また、児のご家庭における様子も適宜お伺いし、情報共有を行う。1時間程度のレスパイト有(親子通所緑組)。	移行支援	転園や就学に向け、関係機関と連携を図り、必要に応じて情報共有や細やかな引継ぎを行う。	
地域支援・地域連携		各家庭の要望に応じて、伝言・電話・メール等、適切な手段で連絡を取り関係機関との連携を図る。また、関係機関からの見学者の受け入れや、担当者会議へのスタッフ派遣等、必要に応じた支援・連携を行う。	職員の質の向上	元国立機関の専門家や国際認定セラピストでもある法人代表が、療育マニュアル・相談データベース・支援計画サンプル等の専門性を担保するシステムを構築し、適宜OJTやビデオフィードバックを行う。又、国立機関並みのビデオ研修システムもある。児童発達支援管理責任者による助言や指導システムがあり、職員がいつでも相談できる環境である。	
主な行事等		クラスにより異なるが、小集団活動や朝の集まり、制作等で季節行事に触れ、遊びを通して楽しい経験を積んでいる。（七夕・運動会・ハロウィン・クリスマス・お正月・節分・ひな祭り・誕生日等）【その他】・避難訓練（毎月）・内科検診（年2回）・どれみの会（音楽療法/年10回）・修了式等			